

通算オ17号

1964~65-9-30

函館北ロータリークラブ

第15回例会

例会場 明治生命館

例会日 毎週水曜日

12.30~13.30

遠藤君 根本は皆さんの顔を良く覚えることにあると思う。  
 成沢君 無届欠席には罰則をつくるべきであると思う。  
 会長 否。通知してほしいと言うことでやつてゆきたい。  
 遠藤君 東クラブ白崎さんの様に電話を利用してはどうか。  
 深瀬君 欠席の原因の分析をすべきである。  
 会長 それは情報と出席委員会でやつていただく。私は出席間違いのない人を除いて「まんしょん」から電話をかけていただいたらどうかと思つている。  
 成沢君 無届欠席の方はニコニコ箱にお金を入れて貰うべきである。  
 北村君 自発的投入と言うことになつています。  
 会長 ロータリーが熟してからやるべきだと思う この辺で何れの案が宜しいか、決めていただきたい。

塚田君 当分「まんしょん」に電話をお願いして貰つてはどうか  
 まんしょんマスター 私の方でやつてもよろしい。  
 深瀬君 私はニコニコ箱を利用すべきだと思う。  
 横山君 むつかしいルールをつくると、かえつて堅苦しくなつていけない。  
 成田君 私は「まんしょん」案。  
 会長 罰金よりもフラインである。うつかりして忘れてのはフラインである。  
 遠藤君 強制は反対。  
 会長 ではフラインでゆきます。「まんしょん」に電話をお願いする。  
 外崎君 三クラブの会長さんをお願いしたいのですが、三クラブ合同のオフィスをつくり、オール・ロータリー専従の事務員を置いては如何ですか。(賛成の声あり)  
 会長 相馬、太秦両氏からもお話があり、賛成と答えました 尚テーブルの配置について具体的にきめておきたい。

(色々意見が出たが、結局テーブルを三本にまとめることに決定。)

飯田(貢)君 東クラブにメーク・アップしたことがあるが、食事の間軽音楽が流れていた。当クラブでも採用してよろしいか、

会長 良い案である。お願いする。

(軽音楽もまんしょんでやつてもらふことになりました。又誕生祝は月の第3例会日とし、赤ブドウ酒が出されることになりました。)

閉会后、連れだつて街を散策する姿もみられ、アツセンプリー成功の感を深くしました。尚これをお読みになつた方は関連がありますので、会報12号を是非もう一度お読み下さい。  
 (水上記)

※司会 新 会長 斉 唱 "それこそロータリー"  
 ※ビジター 井ヶ田重造君他6名(函館R・C・) 出村喜作君他11名(函館東R・C・)  
 ※会長挨拶  
 1. 当クラブの認証がテレトリーの問題で延びているが、近く解決されると思う。  
 2. 去る22日才2回アツセンプリーを行い、問題を出席のみにしほつて討議したが、成功したと思う。その結論に基づき、当分ビジター席を別にしたので御了承願いたい。

※幹事報告

1. 例会変更通知

イ、竜ヶ崎R・C・10月3日より新例会場で。(常陽銀行竜ヶ崎支店)

ロ、帯広R・C・、帯広北R・C・、新事務所を設置。

2. 会長さんが帯広の地区大会に出席した時の記念写真を回覧します。

3. オ2回アンセンプリーの話し合いにより電話で出欠の連絡をとりますが、出来得れば皆さん方から「館」に電話していただきたい。

4. 当クラブの「バナー」が出来ましたのでお買い願います。1本500円

※ニコニコ箱

1. S T V江差局が開局されました。おめでとございます。(金賞)

2. 成沢会員が青年商工会議所会長に就任されました。御健闘を祈ります(金賞)

3. 銀行員ゴルフ大会で大田会員が優勝されました。おめでとございます。(銀賞)

※R・I・よりの認証について

富田特別代表

チャーターがおくれて申し訳ありません。理由は分区の点で行き届かないことがあつたのと、地区分割の定義が変つたことによります。従来は自動的に近郊が属することになつていたのですが、今度から明瞭に書いてやらなければならなくなつたからです。職業分類は了解された様なので、間もなく認証されると思ひます。

※スピーチ ベニヤ合板について。

戸栗 力君

ベニヤ合板は木を薄く剥いで木目を縦横に合わせて貼合わせたものである。従つて安価で、素材の1/10しか狂いが無い。日本でベニヤ板が機械化され、大量

通算才18号

1964~65-10=7

函館北ロータリークラブ

第15回例会

例会場 明治生命館

例会日 毎週水曜日

12:30~13:30

に市販される様になつたのは明治40年頃で、浅野吉次郎のロータリーレースの発明による。大正11年南方からラワン材が輸入され、合板の原料として最適であるので大量に作られる様になり、又、昭和10年頃接着剤として大豆グルーが発明されるに及んで、合板の生産が急増し、目ざましい普及をとげた。

然し当時は、大豆グルーは耐水性に乏しく剥がれ易いため、「ベニヤ板は合わせ板」と言われ、安物の代名詞とされた。(現在業者間ではベニヤ板と言う言葉はタブーで、合板と呼ぶ。)

戦時中の空白期を経て、昭和25年ラワン材の輸入再開、更に合成樹脂系接着剤の発明により、安物のベニヤ板から完全に脱皮し、合板業界は空前の発展をみた。

38年度の統計によれば、日本の合板総生産量は約51500万 $m^2$ で、アメリカに次ぎ世界才2位で、その約20%、約240億円が輸出されている。又生産板だけでなく、二次加工即ち塗装をしたり、模様紙を貼つたり、完全防水合板や防火合板も作られています。然し最近ラワン材の生産地であるフィリッピン、台湾、朝鮮、沖縄等で合板が作られる様になり、又アメリカが、日本の合板が内装用、装飾用であるのに目を付け、外装用の合板で日本に市場開拓を目論んで来ており、日本の合板業界が行詰まるのではないかと言われます。

我々業界としてもまだまだ研究の余地があるのですが、それだけ将来性もあるのだとも言えます。

## \*出席率(前回分)

会員数30名 出席19名 他ク出席6名 計25名(83.3%)

## \*次回の卓話予定者

大田秀雄君 青柳喜一君 山内一雄君

次回例会日 10月14日

少し時間が残りましたので、新会長さんより熊の出る山を歩いた冒険談?があり、一同大いに笑わせられました。今回のお話と言い、又前のアツセンブリーに於ける、特急列車を乗り違えた自慢話と言い、会長さんのスピーチの妙、一同感服致しました。

\* 司 会 新 会 長

\* 斉 唱 "君が代" "手に手つないで"

\* ビジター 菊地忠義君(森R.C.)

大総一郎君他12名(函館R.C.)

小山欽司君他7名(函館東R.C.)

\* 会長挨拶

1. 新潟市長より、当クラブで差上げた地震見舞金の礼状が参りました。
2. エバンストンのR.I.本部から始めてクリップシートが送られて来ました。これはやがて認証状が来るであろうと解して良いと思います。職業奉仕に関して記載があり、飯田(神)委員にお渡しする。初代職業奉仕委員長として良き基礎を作つて下さる様希望します。又R.I.ニュースも来ております。

\* スピーチ

山内一雄君

木造船を作るのが私の仕事ですが、いつの時も作る毎に難かしいものだとつくづく考えます。設計、船主の要望、海運局水産庁の幾度もの検査、現図、施行、塗装、艀装、進水等々です。然し最近資材難で、鋼船にとつて代られ、木造船の設計も遠くなりけりの感じがします。私共は今迄使用した分をこれから植林として国土に返済する気構えであり、それを使命と考えています。

ある造船の権威者が「私共の仕事は戦争になれば儲かる」と言つたそうですが、私共は戦争を望む造船屋には絶対になりたくありません。

応仁天皇の頃「伊豆の国の某に命じて長さ100尺の船を作らせ給い枯野と名付けられ」とあり、これが船名の嚆矢で、又780年位前の古文書に板東丸と言ふ船の事が書かれています。船名に「丸」をつけるについて三つの説があり、

- (1) 昔の人は自分の可愛い子供に丸をつけ、磨から転じた。
- (2) 自分の楽器や武器に丸をつけた様に小舟にも丸をつけた。
- (3) 船を城の一郭に例えて使われた。例えば本丸、二の丸の様に。昔の御朱